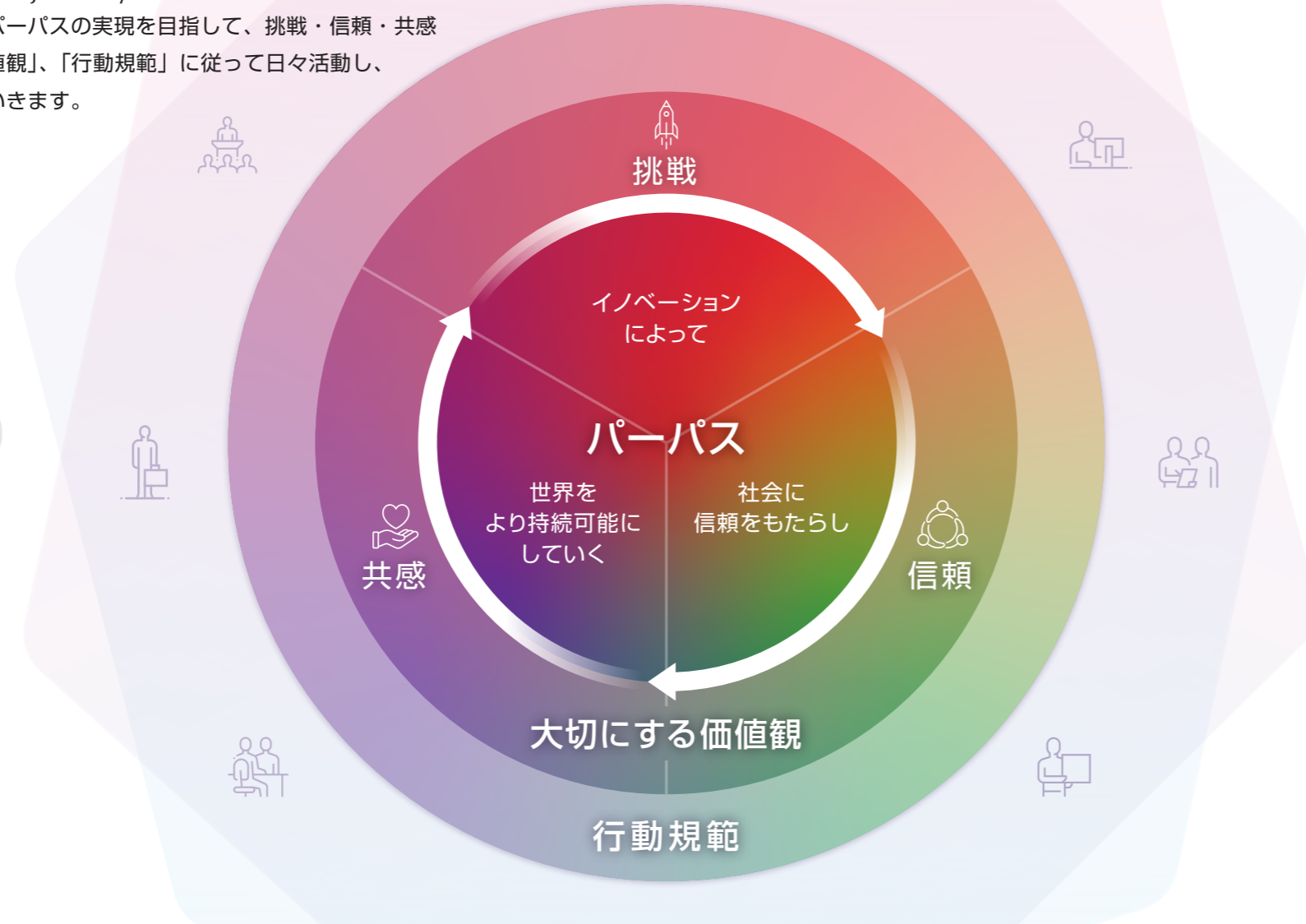


# Fujitsu Way

富士通は、2020年7月、社会における富士通の存在意義「パーパス」を軸とした全社員の原理原則である「Fujitsu Way」を刷新しました。  
すべての富士通社員が、パーパスの実現を目指して、挑戦・信頼・共感からなる「大切にする価値観」、「行動規範」に従って日々活動し、価値の創造に取り組んでいきます。



## パーパス

**わたしたちのパーパスは、イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていこうことです**

## 大切に する 価値観

- |           |  |
|-----------|--|
| <b>挑戦</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>志高くターゲットを設定し、スピード感をもって取り組みます</li> <li>多様性を受け入れ、斬新なアイデアを生み出します</li> <li>好奇心を持ち、失敗や経験から学びます</li> <li>ヒューマンセントリックなイノベーションにより、より良いインパクトをもたらします</li> </ul> |
| <b>信頼</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>約束を守り、期待を超える成果を出します</li> <li>倫理感と透明性を持って誠実に行動します</li> <li>自律的に働き、共通のゴールに向けて協力します</li> <li>テクノロジーを活用し、信頼ある社会づくりに貢献します</li> </ul>                       |
| <b>共感</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の成功と持続的な成長を追求します</li> <li>すべての人々に耳を傾け、地球のことを考えて行動します</li> <li>グローバルな課題を解決するために協働します</li> <li>社員、お客様、パートナー、コミュニティ、株主に共通価値を創造します</li> </ul>          |

## 行動規範

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| <p>人権を尊重します</p>    | <p>法令を遵守します</p>         |
| <p>公正な商取引を行います</p> | <p>知的財産を守り尊重します</p>     |
| <p>機密を保持します</p>    | <p>業務上の立場を私的に利用しません</p> |

## 目次

### マネジメント・メッセージ

- 02 株主・投資家の皆様へ  
代表取締役社長 時田 隆仁
- 08 新型コロナウイルス感染症への富士通グループの対応

### 富士通の全体像

- 10 Fujitsu at a Glance
- 12 財務ハイライト/ ESG ハイライト  
(環境・社会・ガバナンスに関する主な指標)
- 14 取締役・監査役
- 16 独立社外取締役 対談

### 特集

- 20 「DX 企業」に向けた進展
- 26 キーパーソンが語る「DX 企業」への変革
- 26-27 副社長からのメッセージ
- 32-33 Ridgelinez 社長インタビュー
- 35-36 CFO からのメッセージ

### サステナビリティマネジメント

- 38 サステナビリティマネジメント
- 40 サステナビリティマネジメントの全体像
- 42 人権・ダイバーシティ & インクルージョン (D&I)
- 44 ウェルビーイング/安全衛生
- 46 環境/サプライチェーン
- 48 コンプライアンス
- 50 コミュニティ
- 52 ステークホルダーダイアログ

### コーポレートガバナンス

- 54 役員一覧
- 56 コーポレートガバナンス
- 64 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)  
提言に沿った開示情報
- 66 リスクマネジメント
- 68 情報セキュリティ管理

### 事業概況

- 70 パフォーマンスハイライト
- 72 セグメント別ハイライト
- 74 地域別ハイライト
- 76 株主メモ
- 77 富士通グループの情報開示

#### 見直しに関する注意事項

この統合レポートに記載されている内容には、発行時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見直しに関する記述が含まれています。これらの将来の見直しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。実際の結果・業績または事象に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます (ただし、ここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません)。

・主要市場における景気動向 (特に日本、欧州、米州、中国を含むアジア) ・ハイテク市場における変動性 (特に半導体、PC、携帯電話など) ・為替動向、金利変動 ・資本市場の動向 ・価格競争の激化 ・技術開発競争による市場ポジションの変化 ・部品調達環境の変化 ・提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化 ・不採算プロジェクト発生の可能性 ・会計方針の変更